

活力ある福祉社会、地域共生で暮らしに夢を!!

労働運動を語り継ぎ、地域社会と共生の道を切り開こう。

講演「労働組合における自主福祉活動の必要性」

講師 ● 労働者福祉中央協議会 笹森清 会長

福岡県労協は、8月2日、全労済モルティ天神ビル9階大ホールにおいて「これから地域社会において共に助けあう社会作りをどう取り組むか」をテーマとした講演会を開催いたしました。

講師には、元連合会長で、現在は中央労協協会長笹森清氏をまねき講演をして頂きました。

まず最初に県労協山口会長より、「笹森氏は労働運動のトップリーダーでありました、この長年の歴史的運動のかたりべ、そしてこれからの新たな社会福祉運動をめざすための行動など有意義な話が語られると思います。楽しみに聞き学んで欲しい」と紹介をかねた挨拶がありました。

講演で、笹森会長は、労働運動40年のかたりべ、少子高齢化人口減少社会、労働運動、社会運動、地域とのかかわりをどうして行くのか。戦後60年間人口は増え続けた、こうした中で生産人口は増え、高度成長をして行った。しかし、少子高齢社会、出生率1975年1.91から2005年1.25へ、女性の結婚年齢も上がり続けている。人口が減少しないためには2.07以上の出生率が必要であるが、それはどうも望めない。こうした世の中をこの時代にあった道を作って行くかが大切であると述べられました。

助祖百にのける日土作 講師 笹森清



戦後1945年

マッカーサー(GHQ)の民主化五大政策(良い悪いはいろいろあるが)資源のない国、しかし勤勉な労働力がある、働く人の力で国を変える。この時代、労働者を守る法律が数多く作られた。

女性に参政権付与・権利拡大・労働組合の結成・奨励策このことにより労組組合組織率55.7%になった。しかし対立する労使・激化する労働争議も続いた。「明日働けるだけの食いものをよこせ!!!」「人権闘争」「三井・三池争議」「総資本と総労働の闘い」安保闘争など闘った歴史を語った。

55年体制:1955年~

①政治は自由民主党・日本社会党体制、②労働界は春闘・8単産共闘、56年国民春闘「初の春闘相場」、③経済:生産性向上運動、民間組合協力へ、この中で生産性三原則は(労使協議の充実・雇用の維持・公正な成果配分)これを基本とすることが大切である。互いの信頼で成長してきた。

失われた15年:1990年、働く人を大切にすることなく、ふみにじる世代

①インフレ経済~デフレ経済へ、②グローバルスタンダード...実はアメリカンスタンダード→市場経済、優勝劣敗、③国際競争→分配構造の変化→従業員主権・株主重視、④労使関係の変化、経営者は株主しか考えず、従業員と労働組合の声を聞こうとしなかった。

2001年、連合会長に就任、自民党小泉政権発足

アメリカからの年次改革要望書(規制緩和・自由化・民営化)が進みアメリカンスタンダードによる「弱き者が切り捨てられ、一部の勝ち組優先のみじめな社会」になって来た。小泉政権の5年は詭弁とゴマカシ、国民へのツケ回しである。失業率、自殺者、貧困率、貯蓄率、どれを取っても最悪であり、税金、年金、国の借金を増税でまかなおうと

している。一億総中流意識(82.7%、サラリーマン給与所得者)社会から格差社会の中で二極化され勝ち組優先社会「働いている人はモノとはちがう」のであり、もっと怒りの声を発すべきです。

社会変化

- ①4つの社会変化(グローバル、少子高齢、IT、地域環境、循環型社会)
 - ②6つの労働力(高齢者、女性、身障者、新卒、外国人、現職)活用
 - ③目指す社会(労働を中心とした福祉型社会)均等待遇
- こうした変化に対応出来る制度、政策が求められる。

そして最後に地域社会へどうデビューするか

人生は80年長生きすることは人類の夢、子供は宝といわれて来た。夢はかなくなったが、宝が少なくなり、安全、安心出来ない世の中になって来た。働いて60年ごころうさんあと残り20年、何をするかを考えて見る必要がある。

07年から団塊世代が60才を迎える。前後6年間で1400万人が地域でデビューし共生して行く、しかし何をしたら良いかわからない人達がたくさん出ると思う。地域社会との共存、共生・助け合い、譲り合い(自助・公助・共助)のために労働組合の培ってきた、資金力、ネットワーク、ノウハウを地域へ開放し、共感をえる運動の呼びかけを今進めて行くべきです。

そのためには、健康作り、人づくり、街づくりはどう参画するかです。2つのA(安全、安心)6つのK(健康、子育て、介護、環境、教育、雇用)を守る取り組みであり、能力はそれぞれのもっているものを役立てることが必要です。今まさにめざしている、くらしにかかわるサポートセンターの取り組みが非常に大切であり、労働運動、労協協運動に求められています。と講演は締められました。

祭 PHOTO in 山笠

博多祇園山笠とは?
博多の総鎮守・御田神社の祭礼。7月1日~15日 博多に夏を告げるまつり。国指定重要無形民族文化財 日本三大祇園祭のひとつ 豪華絢爛な飾り山笠(静の山笠)と勇壮無比な昇き山笠(動の山笠)。

山笠の起源は?
山笠の起源には諸説ありますが、一般的には1241年(仁治2年)、承天寺の開祖・聖一国師が当時流行っていた疫病を退散させるために、町民が担ぐ担籠(鬼窟)に乗って、祈禱水(甘露水)を博多の町にまいたとされるのが始まりです。

出資法の上限金利引き下げ等を求める法改正への取り組み強化について

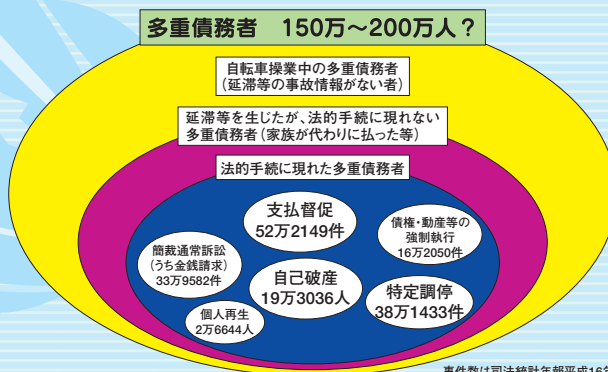
多重債務問題とその要因である消費者金融による高金利、過酷な取立て、過剰融資等が大きな社会問題となっております。このため私たちは、明年1月を目途とする出資法及び貸金業規制法等の見直しに向けて、①出資法の上限金利の利息制限法までの引き下げ、②みなし弁済規定の撤廃、③出資法の特例金利の廃止—を求めて、地方議会での意見書採択、1,000万人署名、集会など全国的な取り組みを進めております。

地方議会意見書は、すでに都道府県議会では8割を超える38議会、市議会では過半数突破し採択され（8月2日現在）、9月議会でも更に広がる勢いです。当県においても、県議会をはじめ、69市町村の内18の市議会26町村会で採択されており、県民の意思は明確に示されております。また、個人署名も全国で既に2,533,481筆を集約し（8月3日現在）、秋の臨時国会提出に向けて引き続き取り組みを進めているところです。

一連の最高裁判決や金融庁「貸金業制度等に関する懇談会」中間整理を受けて、各党でも検討作業が進み、今秋にも法改正が行われる見通しと伺っております。与党の検討チームが、貸金業の規制強化や出資法の上限金利を利息制限法の水準まで引き下げる方向を打ち出すなど、情勢は大きく前進しています。しかし、少額短期貸付等の特例も検討の余地を残しており、特例金利により金利の引き下げが骨抜きになることも危惧されます。

私達は地方議会の意見書及び個人署名の趣旨に基づき、例外を設けることなく、出資法の上限金利を利息制限法の制限金利（15～20%）まで引き下げる法改正を実現するために署名活動、全地方議会意見書採択、国会議員への働きかけを強めて行きます。

上限金利引き下げの目的—多重債務問題の解決を



クレ・サラ (消費者金融) の高金利引き下げ等を求める請願書署名活動にご協力下さい

福岡県生活協同組合は設立(再建)30周年を迎えました

福岡県生活協同組合連合会は、1976年7月に設立(再建)され、今年で創立30周年を迎えることになりました。県生協連は、終戦の早い段階で生協の再建・発展を願う諸先輩たちが結成の努力を行ってきました。1950年2月に、小倉市消費生協を中心として福岡県消費生活協同組合連合会の設立総会が開催され、1952年に消費を外して福岡県生活協同組合連合会として再編されたと思われま。設立当初の生協は、炭鉱主力の職域生協が中心であり、石油転換と関連して職域生協は苦境に陥り、事業の行き詰まりの中で福岡県生協連の活動は休止へと追い込まれました。1964年12月に、福岡県生活協同組合運営協議会の設立総会が開催され、新たな県内生協の連帯構築に向けて活動を開始しました。住民運動が高揚するなかで、大学生協の支援により地域市民生協の設立が続き、そのような情勢を反映して福岡県生協連の再建に向けて検討が開始され、1976年7月に福岡県生協連の設立総会が開催されました。県生協連が設立(再建)されたにもかかわらず、県連加盟を保留する生協を抱えるなどの状況が続き、県生協連正常化まで15年の長い歳月を要しました。1991年3月に、全県的な連帯として県内の生協が福岡県生協連に合流し、本格的な連帯構築として大きく動き出しました。現在、県生協連への加盟は、地域2生協・大学10生協・医療4生協・学校1生協・福祉1生協・職域3生協・事業連合3生協の24会員生協が加盟しています。

県生協連は、7月6日(木)県連設立(再建)30周年記念式典を開催しました。当日は、記念式典と祝賀会の二部制にして、記念式典には福岡県知事の代理として副知事をはじめ多くの方々のご臨席をいただき、盛会の内に記念式典を開催しました。引き続き、県生協連より感謝状の贈呈を行い、団体はJA福岡中央会・福岡労福協の2団体、個人は歴代会長理事の4名に贈呈しました。祝賀会では、九州厚生局健康福祉部長・県生活労働部長・九州労金理事長より来賓としてのご挨拶をいただきました。歴代会長理事の祝辞や「県連30年のあゆみ」のスライド上映を行い、参加者は30年の歴史を懐かしく思い出していました。今回の県生協連設立30周年記念式典は、歴史の通過点としての位置付けで準備を進めてきました。全国や地元福岡の支援を受けながら、今後共に努力する決意を固めた30周年の取り組みでした。



保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

火災共済

風水害等給付金付火災共済

自然災害共済

自然災害共済

ZENROSAI NEWS

台風シーズンに対策は万全ですか？ 自然災害共済のご検討を。

自然災害共済とは

①風水害等共済金 ②地震等共済金 ③盗難共済金 など

台風、地震、盗難の場合に補償される特約です。まず、火災共済に加入し、自然災害共済を ①付帯する ②付帯しない は本人希望です。

自然災害共済に加入する場合

例 火災共済 100口 × 単価6円 = 600円/月
(木造モルタル住宅) (1000万円保障)



※自然災害共済への加入は申込書の「付帯する」に○印をしてください。

自然災害共済 100口 × 単価8円 = 800円/月

《ご留意》

門、塀、垣根、その他住宅の付属工作物、住宅に付属する物置、納屋、車庫、その他の付属建物は共済の目的の範囲に含まれません。

※詳しくはパンフレット・加入の手びき又は全労済へおたずねください。

Aさんの声

Aさんにとって毎年9月末までは恐怖の季節だそうです。それは台風シーズンだから。2004年に台風の暴風に曝されて家が突然「ガタガタン」という音とともに住宅被害に遭いとても怖かったからだそうです。屋根が軒あたりが壊れた感じで、その時心の中で「大丈夫、自然災害共済に加入しているから修理代は大丈夫」と思っただけで、少しホッとしたとのこと。台風が通過した後、軒天と雨樋が破損し、損害額は約46万円、ほぼ全額修理代が支払われ、「加入していて良かった。」とおっしゃっておられました。

Aさんは数年前に自然災害共済に加入し、火災共済(1,176円/月)にプラス自然災害共済(1,568円/月)が追加されました。「それで毎年やって来る台風被害にいくら修理代が掛かるかわからない不安が解消されるばかりか、修理が全部できたことに我ながら良い判断だった」とおっしゃっておられました。

——— Aさんの場合 木造住宅30坪 築26年 ———

火災共済 30坪×65万円=1950万円保障 196口単価6円 月掛金1,176円

自然災害共済 同口付帯 196口単価8円 月掛金1,568円

合計月掛金 月掛金2,744円

お問い合わせは

全労済福岡県本部
(福岡県労働者共済生活協同組合)

受付時間(土・日・祝日を除く) 9:00~17:15まで

TEL 092-739-6100

全労済 筑後支所

福岡県久留米市東町42-14ワカナステートビル3F
TEL 0942-38-8211

全労済 北九州支所

福岡県北九州市小倉北区真鶴1-5-15 真鶴会館3F
TEL 093-591-7220

全労済 福岡支所

福岡県福岡市中央区舞鶴1-1-7 全労済マルチ天神ビル3F
TEL 092-732-4047



第5回

通常総会を開催しました

2006年6月27日(火)九州労働金庫は、第5回通常総会を福岡市の「アクロス福岡」で開催しました。総会には、九州各県の臨時代議員・運営委員・推進機構の代表者・関係者等300名以上の方が出席しました。

開催にあたり、村上守理事長は「九州ろうきんの初期の課題であった安定的な組織・経営基盤の早期確立等については、会員および役員のみならず、おかげで、ほぼ達成されつつあります。これからはろうきんのメイン化に向けて本格的な会員サービスと社会貢献活動に取り組み、情勢や環境の変化に的確に対応できる強固な経営態勢の構築を目指したい。」と挨拶しました。

総会では、2005年度業務報告および決算関係書類の承認、第2期中期経営計画および2006年度事業計画の設定などが提案され、「利用配当」「残高通知書等の自宅郵送」などについて多数の質問・意見・要望が出されました。

その上で、提案されたすべての議案が承認され、新役員を選出し終了しました。

新役員体制

理事長	……	村上	守
専務理事	……	堀	典義
専務理事	……	服部	道德
常務理事	……	仁科	隆夫
常務理事	……	池内	一徳
常勤監事	……	東木	静夫

お問い合わせ先



九州労働金庫福岡県本部

〒810-8509 福岡市中央区大手門3-3-3 ☎092-714-7143
ホームページアドレス <http://kyusyu.rokin.or.jp/>

2006 福岡県民さわやかマラソン 11月19日(日) 海の中道海浜公園

国際クロカンの海の中道海浜公園を走りませんか!



ゲストランナー
メキシコオリンピック マラソン
銀メダリスト
君原健二さん



福岡県民さわやかマラソン

この大会はマラソンを通じて、心身ともにたくましい青少年を育成するとともに、勤労者の健康増進を図り、家族の触れ合いを深め、豊かでゆとりある県民生活を実現することを目的としており、海の中道海浜公園で開催されるようになって6回目を迎えます。昨今、青少年の健全育成は社会全体で取り組むべき重要課題となっております。働く仲間や、青少年のみなさんが、この大会に参加し自然を感じながら走ることで、家族とのふれあいや友達との交流を深め、心身とも健やかに成長されることを期待いたしています。多くの参加者をお待ちしています。

- ### 参加者募集
- コース 海の中道海浜公園特設コース
 - 参加資格 小学生以上の男女(県内在住等を問わない)
 - 種目
 - 小学生～一般) 男・女
 - 10km (高校生以上19歳以下、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上)
 - 5km (中学生、高校生以上19歳以下、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上)
 - 2km (小学4年生～6年生、中学生、高校生、一般) ●1km (小学1年生～3年生)
 - 〈親子ペア部門〉 親と子どもの2名 ●1km ●2km
 - 募集人員 2,000人
 - 参加料 一般 3,000円、高校生以下 1,000円、親子ペア 3,500円(入園料・保険料含む)
ダブルエントリー(一般 1,000円、高校生以下 500円追加)
※応援・引率の方の入園料(6～14歳まで 50円、15歳以上 280円) ※入園は、西口からお願いします。
 - 申込期限 平成18年10月20日(金)必着
申込書は(社)福岡県青少年育成県民会議、福岡県庁1階、連合福岡、九州労働金庫本支店、アクロス福岡、福岡市情報プラザ、福岡市各区役所、青少年育成市町村民会議にあります。申込書がない場合は選手受付事務局までご連絡ください。
 - 表彰 (1)それぞれの種目1位から3位までに賞状・賞品 5kmと10kmの男女については、男女それぞれ総合1位に「知事杯」
(2)参加者の中から、抽選によりペア1組を「韓国慶州さくらマラソン」へ招待
(3)全員に参加賞 そのほかラッキー賞、遠来賞、シルバー賞等の特別賞
(4)完走者記録証当日渡し
 - サブイベント さわやかフェア同時開催:地元特産物の即売、飲料、軽食のお店など
 - 主催 福岡県民さわやかマラソン大会実行委員会
 - 申し込み・問い合わせ先 福岡県民さわやかマラソン選手受付事務局 Tel 092-739-1447 Fax 092-739-1446

クレ・サラ セーフティネット

1. 相談対象範囲

- ① 労福協の会員及びその構成員 (家族含む)
- ② (ろうきん)の会員 (労働組合)・組合員 (家族含む)

労福協会員及びその構成員 (家族含む) ろうきん会員 (労働組合)・組合員 (家族含む)

① ②

県・地域労福協 ろうきん

①② ①②

連携

担当「弁護士」

2. 但し、着手金、弁護士報酬金、その他必要経費は、個人負担となります。
3. 相談窓口は、県・地域労福協および、九州労働金庫福岡県本部・各支店で受け付けます。

子育て、介護する人される人 なやまず気軽にお電話ください

県ろうぶく協 共同利用

グリーンコープ生協ぶくおが ぶくし情報でんわ

	北九州(祝日も開設)	筑紫(祝日は休み)
開設日・時間	月～金 9:00～16:00	月～金 10:00～16:00
TEL	093-202-3039	092-593-5370
	福岡(祝日は休み)	筑後(祝日は休み)
開設日・時間	月～金 10:00～16:00	月～金 10:00～16:00
TEL	092-731-1455	0120-412-942 0942-21-5406(留守番電話有り)

さまざまなニーズに応える
安心のろうきんローン

住宅ローン、フリーローン、
教育ローン、カーライフローン、
カードローン(マイプラン)

ホームページアドレス
<http://kyusyu.rokin.or.jp/>

お問い合わせは

九州労働金庫福岡県本部
(092) 714-7143

ふれ愛バンク
ろうきん

家族と住まいに大きな安心。
セット加入で頼れる保障。

自賠責共済	火災共済	総合医療共済
マイカー共済		こくみん共済
自賠責共済		ねんきん共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆様の安心とゆとりある暮らしをめざしています。すでに組合員は全国で1,390万人。出資金をお支払いいただいで各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済福岡県本部 (福岡県労働者共済生活協同組合)
インターネットホームページアドレス
TEL 092-739-6100 <http://www.zenrosai.or.jp>

加 盟 団 体

北九州地域労福協/遠賀川地域労福協/福岡地域労福協/北筑後地域労福協/南筑後地域労福協/筑紫・甘朝地域労福協
京築・田川地域労福協/連合福岡/九州労働金庫福岡県本部/全労済福岡県本部/福岡県生活協同組合連合会/真鶴会館